

岐阜信金、タイに事務所

県内信金初の海外拠点

岐阜信用金庫は11日、初の海外拠点としてタイ・バンコク市内に駐在員事務所を開設

した。県内信金が海外拠点を設けるのは初めて。タイを中心に東南アジア諸国連合(ASEAN)に既に進出したり、進出を検討している取引先企業のビジネス支援を強化する。

派遣職員の所長と現地スタッフの計2人体制で業務を担当。現地の金融や経済の情報収集に加え、タイには約50社の取引先企業が進出しており、今後も進出数の増加が見込まれており、取引先への情報提供や海外ビジネス展開の支援なども行う。同金庫では、2014年1月から信金中央金庫バンコク駐在員事務所や、ベトナム投資開発銀行に職員計3人を派遣し、支援の強化につなげている。



テーフカットし開所を祝う高橋征利理事長(左)と高橋英孝所長。タイ・バンコク市、岐阜信用金庫バンコク駐在員事務所(岐阜信金提供)

開所式には、岐阜信金の高橋征利理事長や二階堂哲理事市場国際部長らが出席し、テーフカットし、開設を祝った。高橋理事長は「国内はもとよりタイ、ASEANでも取引先の要望に応える体制を充実させたい」とコメントした。